

旭川文学資料館ミニ企画展 旭川文芸の素描

旭川在住漫画家日野あかねが
イラストで描く旭川文芸の一断面



旭川ゆかりの文学者を
モデルに描いた作品等
を展示紹介します。

場所 旭川文学資料館(旭川市常磐公園常磐館内)
TEL/FAX0166-22-3334
期間 2023年8月8日(火)~9月30日(土)午前10時~午後4時
日月祝休館 入館料無料
主催 旭川文学資料館

旭川文学資料館ミニ企画展

デッサン

旭川文芸の素描

旭川在住の漫画家日野あかねがイラストで描く旭川文芸の一断面



旭川ゆかりの文学者を
モデルに描いた作品等
を展示紹介します。

場所 旭川文学資料館(旭川市常磐公園常磐館内)
TEL/FAX0166-22-3334
期間 2023年8月8日(火)~9月30日(土)午前10時~午後4時
日月祝休館日 入館料無料
主催 旭川文学資料館

日野 あかね さん プロフィール



1965年、北海道旭川市常磐町生まれ、旭川市在住。
15歳で初投稿、17歳で集英社デビュー。この時点では学業優先、看護学校に入り正看護師免許取得。
1986年、再度投稿を始めて、翌年秋田書店にてデビュー。少女漫画、ミステリー漫画を中心に描き始める。1991年、7年間勤務した病院を退職して上京。秋田書店、小学館、学研、読売新聞、医学芸術社などでギャグ及びショート漫画を連載する。内容は主に看護医療関係、教師や保育士、デパート店員等を扱ったもの、子供向けの科学の誌、新聞掲載の風刺一コマ漫画、医療機器メーカーのインフレット掲載のもの多岐にわたる。2000年、オーバーワークで倒れ、北海道に帰省する。
その後結婚、専業主婦になるが夫のガン闘病が転機になり、2006年、再びペンをとる。家族ものの感動系の誌、もしくはサスペンス漫画を描く。また、医学書院で介護、看護師向けの漫画、日本のインフレット掲載漫画の連載、製薬会社とも長年にわたり契約し認知症改善画のインフレットやポスター、Webサイトの4コマ漫画などを連載する。2012年、漫画『のぼんきま』(ぶんか社)刊行。ステージ4からの回復が当時珍しく、テレビや雑誌、新聞等に取りあげられ反響を呼ぶ。
2014年、漫画『犬柱生 老犬と通じた21日間』(双葉社)を刊行。2021年、6年間続いたグルメ漫画が電子書籍になり3冊同時発売。記念としてFeeel(フィール)旭川4階、ブックマークカフェで展示会を開く。翌年5-6月、山菜料理コンテストグランプリ作品「ウドベージュ」のPR漫画を描き、その漫画の原画展をブックマークカフェでこなす。
同年11月-翌年1月、旭川で活躍した詩人小無秀雄の存在に感銘を受け、詩とイラストの個展を開く(ブックマークカフェにて)。同時期、「旭川の芥川龍之介展」が旭川文学資料館で開催され、その時に小無秀雄と芥川龍之介のコラボ漫画を描き発表する。
2023年初頭より、小無秀雄の人生を辿った、『詩人小無秀雄物語』を漫画にて自費出版する。同年6-7月、旭川市中央図書館で作品展「民衆詩人小無秀雄 詩とイラストで綴る展示会」を開催。
現在は、ぶんか社、三倉出版にて漫画を執筆、掲載。



※ご来館の際は、感染症予防にご協力ください。
また、金額がやむをえず変更となる場合がありますのでホームページ等でご確認をお願いします。

「旭川文学資料館」は旭川のシンボル 旭橋 のすぐ近くに 있습니다

交通(バス)のご案内 「常磐公園前」下車
 ●旭川電気バス(所要時間8分)
 駅前バスターミナル4番乗場:5-6-8日他、1車道T日乗場:14番
 ●道北バス(所要時間8分)
 駅前バスターミナル3番乗場:28-29
 宮下通駅前 22-23番乗場:10-14-15-114-530番
 旭川駅前から、徒歩約25分です。
 〒970-8994 北海道旭川市常磐公園1971-5
 旭川市常磐館内 TEL/FAX(0166)22-3334
 ■開館時間/10:00~16:00
 ■休 日/毎週日・月曜日・祝日・年末年始
 ■入 館 料/無料
 ■駐 車 場/有
 当館のホームページもご覧ください。
<https://www.abs-tomonokai.jp>



特定非営利活動法人 旭川文学資料館友の会が運営しています。
2001年に活動を開始、2009年(21)年5月17日に開館しました。